

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	子どもの理解と援助				授業形態	演習			
科目コード	750161	単位数	1単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	神垣 彬子							ICT活用	○
授業概要	子どもを理解するうえでの基本的な考え方やその方法、子どもの理解に基づく保育者の援助や態度の基本について理解することを目的とする。 個々の子どもを正確に理解するために、またその子に合った支援を提供するために必要な観察の視点や保護者との連携および関係機関との連携について講義する。 公立小・中学校でスクールカウンセラーの経験があり、また、保育、療育の現場での実務経験を有する教員が実際の事例検討等を交えた授業を行う。								
関連する科目	保育内容指導法「人間関係」、幼児と人間関係								
授業の進め方と方法	講義は、パワーポイントで提示する資料や適宜講義内容に沿った視聴覚教材を用いて行う。講義内容によっては、ディスカッションやロールプレイを用いて学びを深める場合がある。								
授業計画【第1回】	第1回 子ども観と保育観 子ども観や保育観（子どもや保育とは何かについての考え）について学ぶ								
授業計画【第2回】	第2回 子ども中心の教育実践とは 子ども中心の教育実践とは何かについて学ぶ								
授業計画【第3回】	第3回 トラブルの意義と指導 葛藤、つまづき、いざこざなどのトラブルの意義と指導について学ぶ								
授業計画【第4回】	第4回 保育における評価 保育における評価のあり方について学ぶ								
授業計画【第5回】	第5回 遊びの意義と指導 遊びの意義と指導について学ぶ								
授業計画【第6回】	第6回 発達段階に応じたかかわり 発達段階に応じたかかわりについて学ぶ								
授業計画【第7回】	第7回 発達障害を持つ子どもへのかかわり 発達障害を持つ子どもへのかかわりについて学ぶ								
授業計画【第8回】	第8回 保育における相談 主に保護者に対する相談活動について学ぶ								
授業の到達目標	1. 保育実践において、実際に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。 2. 子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。 3. 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。 4. 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。								
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)								
授業時間外学習【予習】	授業前に30分程度ノートの予習を必ず行い、前後の講義内容との関連性等に着目しながら学びを深める。次回の講義の予習箇所については、講義終了前に毎回提示する。								

授業時間外学習【復習】	授業後に30分程度ノートの復習を必ず行い、前後の講義内容との関連性等に着目しながら学びを深める。当日の講義の復習箇所については、講義終了前に毎回提示する。
課題に対する フィードバック	最終試験の採点基準および回答のポイントについては、授業内容の振り返りとともに最終講義内で事前に解説する。
評価方法・基準	期末レポート（基礎用語の理解と指定評価方法テーマに対する論述問題）100点の結果で評価する。
テキスト	北大路書房　／　新保育ライブラリ「子どもの理解と援助」　／　清水　益治・無藤　隆　編著 ※この教科書は「幼児と人間関係」でも使用します。
参考書	適宜紹介する。
備考	